



Center Of Community

# 全国ネットワーク化事業

平成26年 **3月11日** [火] (開場 12:00~) **13:00~17:00**

## イイノホール&カンファレンスセンター

東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル

参加費

**無料**

**定員:500名**

近年、全国各地で大学と自治体との組織的連携に基づく、大学の地域志向の取組が推進されています。文部科学省による「地(知)の拠点整備事業」(COC)は、その動きに拍車をかけるものと期待されます。

一方で、全国各地の取組は、他地域にとっても大変貴重な情報であり、他地域への波及効果も求められるところです。COCは、一部の地域ではなく、日本全国で成功させることが重要であるからです。

そこで、全国のCOC取組内容を集約し、地域を志向する大学等が相互に情報を共有できる場を設置することを目的として、全国シンポジウムの開催を提案します。このシンポジウムにて、COC実施機関同士が類似課題に対して解決方法のヒントを得ると同時に、今後地域志向化を目指す機関に対しても、情報の提供ができるプラットフォームの役割を果たしていきたいと考えます。

### プログラム

13:00 開会

13:05 来賓挨拶

13:10 文部科学省 施策説明——文部科学省高等教育局大学振興課長 里見 朋香

13:35 **基調講演** 『地(知)の拠点整備事業』が拓く、地域と大学の新しい可能性——人材育成を中心に  
NPO法人ETIC.代表理事 宮城 治男

14:30 **分野別**パネルディスカッション(パネリストについてはHPで公表)

**分科会1** 【教育】学生を対象とした課題解決学習や地域が求める人材を輩出するための教育  
ファシリテーター: 高知大学社会協働教育部門長 上田 健作

**分科会2** 【研究】地域ニーズと大学シーズのマッチング、地域課題解決に向けた共同研究、研究成果の還元  
ファシリテーター: 高知大学国際・地域連携センター副センター長 石塚 悟史

**分科会3** 【社会貢献】地域住民(子ども、社会人、高齢者等)の学びなおし、異世代間交流、学生の自主活動  
ファシリテーター: 高知大学国際・地域連携センター長 受田 浩之

16:40 各分科会まとめ

16:55 閉会

### 申し込み方法

以下のURLに申込フォームを掲載しますので、必要事項を入力の上、平成26年2月25日(火)までにお申し込み願います。

《高知大学国際・地域連携センター HP》<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

お問い合わせ

国立大学法人 高知大学 国際・地域連携センター  
高知県高知市朝倉本町2丁目17-47  
TEL: 088-844-8555 FAX: 088-844-8556  
<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

## パネルディスカッション詳細

### 分科会 1【教育】

#### ◎ディスカッションのテーマ例

学生を対象とした課題解決学習や地域が求める人材を輩出するための教育等

- ・全学的な視点から、いかに教学改革へとつなげていくか？
- ・地域や地元産業界からの協力を得るには？

(地域や地元産業界との役割分担、インセンティブ)

- ・教育効果の高いプログラムとするためには？

#### ◎講演者紹介

##### 《ファシリテーター》

上田 健作 高知大学／総合教育センター社会協働教育部門／部門長

##### 《パネリスト》

宮城 治男 NPO 法人 ETIC./代表理事

宮下 智裕 金沢工業大学／環境・建築学部／准教授

五十嵐 勉 佐賀大学／全学教育機構（高等教育開発室）

### 分科会 2【研究】

#### ◎ディスカッションのテーマ例

地域ニーズと大学シーズのマッチング、地域課題解決に向けた共同研究、研究成果の還元

- ・地域課題と教員（学生）の効果的なマッチング方法とは？
- ・大学以外の組織（産業界等）を活用する場合、その効果的な連携方法とは？
- ・共同研究の成果を、具体的な課題解決（アクション）へどのようにして結びつけるか？

#### ◎講演者紹介

##### 《ファシリテーター》

石塚 悟史 高知大学／国際・地域連携センター／副センター長

##### 《パネリスト》

谷本 圭志 鳥取大学／工学研究科・社会基盤工学専攻／教授

上田 洋平 滋賀県立大学／地域共生センター／助教

小島 直也 東海大学／産官学連携センター／所長

### 分科会 3【社会貢献】

#### ◎ディスカッションのテーマ例

地域住民（子ども、社会人、高齢者等）の学びなおし、異世代間交流、学生の自主活動

- ・地域や地元産業界との効果的な連携体制を構築するためには？
- ・取組を地域住民等へ周知し、活動へ巻き込んでいくために有効な手段とは？
- ・活動の効果をどのように測定するか？

#### ◎講演者紹介

##### 《ファシリテーター》

受田 浩之 高知大学／国際・地域連携センター／センター長

##### 《パネリスト》

木村 晴壽 松本大学／総合経営学部／教授

杉村 公也 中部大学／地域連携センター／副センター長

(調整中)